

第2回田原市男女共同参画推進懇話会会議録

会 議 名	第 2 回田原市男女共同参画推進懇話会
開 催 日 時	平成 19 年 11 月 21 日(水)13:30～16:40
開 催 場 所	田原市役所北庁舎300会議室
出 席 者 氏 名	資料1のとおり
欠 席 者 氏 名	荒木英夫氏 稲垣人美氏 能勢輝正氏 田中敢氏
会 議 事 項	<p>1. 議題</p> <p>(1)各分野での男女共同参画に関する取組み、課題等の状況について</p> <p>(2)委員連絡票により提出された意見等について</p> <p>(3)懇話会の今後の進め方について(意見交換)</p> <p>(4)平成20年度あいち国際女性映画祭の田原市での開催について</p>
会 議 結 果 連 絡 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野での男女共同参画に関する取組み、課題等を報告。 ・第 3 回までに懇話会の進め方について委員連絡票にて提出。 ・第 3 回を 3 月頃開催。日程は後日調整。
会議録の確定	
確 定 年 月 日	署名委員署名
会 議 内 容	
会長	<p>それでは、定刻となりましたので、ただ今から、第 2 回田原市男女共同参画推進懇話会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は大変お忙しいところお集まりを頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>2 回の予定であった懇話会を、もう 1 回意見を言う場を増やしてもいいのではないかと、みなさんに賛成していただいて、臨時という形で今回開催させていただきました。これが定着するかどうかはこれからですが、3 回にしようということで今回懇話会を開催させていただきました。前回は言いたいことがまだあったのに、途中でできなければならないという形で第 1 回目を行いました。</p>

	<p>今日はしっかり準備をしていただきましたので、数分しかありませんが、伝えていただきたいと思います。あまり堅くならず、ご意見をいただきたいと思います。本日は、これを中心に進めたいと思います。</p> <p>本日の議事録の確認者は、名簿の上からの順番で、富永委員と斉竹委員にお願いしますので、ご了承下さい。それでは、議題に入ります前に、部長さんからごあいさついただきたいと思います。その後、事務局から本日の資料の確認、委員の変更の報告、本日の欠席者の報告等をお願いします。</p>
総務部長	<p>先生からもお話がありましたとおり、第2回を開催させていただきます。あいち国際女性映画祭を盛況のうちに終わることができ喜ばしく思っております。来年度も開催したいと考えていますので、ご協力いただきたいと思います。</p> <p>また、前回第1回会議に欠席し、4～9月まで半年間自治大学へ行っておりました事務局の鈴木課長補佐をみなさんに紹介させていただきます。</p>
企画係長	<p>企画課の鈴木と申します。よろしくをお願いします。</p>
総務部長	<p>前回の会議以降、少し間が開きましたが、その間みなさまからご意見をいただいておりますので、後ほど紹介させていただきます。本日もみなさまから活発なご意見をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、本日の資料を確認させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料1】の「田原市男女共同参画推進懇話会委員名簿」 ・【資料2】の「委員連絡票により提出された意見等」 ・【資料3】の「田原市男女共同参画推進プラン（分野別取組事業一覧表）」 ・【資料4】の「あいち国際女性映画祭2007 田原会場の結果について」 ・【その他】として「たはら男女共同参画ニュース『Walk Together』ウォーク・トゥギャザー第1号」と「委員連絡票」 <p>以上の資料ですが、不足されている方はおいででしょうか。</p> <p>続きまして、委員の変更の報告をさせていただきます。</p> <p>前回お配りした委員名簿の8番目、農水産業関係分野の清田漁業協同組合長の朽名勇夫さんが都合によりまして、中山漁業協同組合代表理事組合長の荒木英夫さんに変更しておりますのでご報告させていただきます。変更後の名簿は資料1のとおりです。本来ですと、ここでご本人を紹介させていただくところですが、残念ながら本日は、所要のため欠席となっておりますのでよろしくお願ひします。</p> <p>その他に、本日の会議には、11番の稲垣委員と12番の能勢委員と17番の田中敢委員が所要により欠席しておりますので、ご報告いたします。</p>
会長	<p>それでは、議題に移らせて頂きます。</p> <p>まず、1番目の議題「各分野での男女共同参画に関する取組み、課題等の状況について」に入ります。プランの中で、46ページのところに、条例の検討が入っております。懇話会の目指すべき方向をプランに示していただいていると思ひ、そのつもりで取り組んでおります。懇話会の中で、どのように取り組んだらよいか、条例制定にどのくらいかけたらよいかといったようなご意見もいただきました。豊橋市は10年近くかけて条例を制定しました。田原はすでに後発でありますから、いろいろな情報を利用していきたいと思ひます。必ずしも早く作ることがよいことではありませんが、同じ様に10年かけることでもないと思ひます。市長さんの話の中で、現状の把握と分析が大切とおっしゃったが、これは大切です。現状を把握しなければ進みません。良くも悪くも現状を把握することが大切です。各分野の情報を提供していただくことが、今日の大きな目的ですので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、太田委員から順番に報告をお願いします。</p>
委員	<p>私は、地元で10年以上続けて行われているボランティア活動をしている会に参加しています。会に参加されている女性から、毎年のように相談を受けてい</p>

	<p>ます。参加したいが同じ女性からのねたみがあって、参加できない女性たちがいます。50人中3人が女性だが、「男性にちやほやされたいから」「酒が飲みたいから」などと陰で言われています。地域のためにボランティアに参加をしてほしいと呼びかけてもなかなか参加してくれません。7年以上続けている女性は、同じ女性からの足の引っ張りあいがあることが悔しいといっています。しかし、「地元の人たちが喜んでくれるからがんばります。」とあって続けてくれています。参加してくれている女性は企画・準備・片づけまで携わってくれています。</p> <p>参加しにくいという女性の立場もわかるが、女性の意識も薄いです。「中心的事は男性にやってくれ。」といわれてしまいます。ある会議に推薦されて出てくる女性に、「こんなまじめな会では意見はいえない。」とっていました。推薦されて仕方なく出てきているので、聞き役になってしまいます。自分の意思で参加する人が少ないです。女性のボランティアスタッフを増やしたいと思っています。会議等に女性に参加してもらうために何か良い案はありませんか？</p>
会長	<p>太田さんの質問に対して答えや意見等ありましたら、持ち時間の中に少しプラスしてお話下さい。</p>
委員	<p>私もこの会に出たくて出ているわけではありません。男女共同参画になぜ私ができなければいけないのかも、勉強不足のためわかりません。結婚して姑と一緒に暮らしてきて、「男は仕事、女は家庭」という考え方に何の不満もなくやってきました。今、子どもから手が離れて、自分が思うことをやってきているので、私の周りでは男女平等または、それ以上な感じがします。男らしく女らしくいたいと思います。しかし、会社の中では男女平等であってほしいです。</p> <p>赤十字奉仕団の会員に意見を聞いてきましたので紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいち国際女性映画祭に行ったが、男性映画祭はありますか？もっと男性にも見て欲しかったです。 ・地域でも女性に対して役員をやってくれといっているが、役員になるのはいやだが、意見を陰で言う人もいます。婦人会が消えてしまったのも、役がくるとやめてしまうからでした。男でも女でもやるべきことをやるのが大切だと思います。役が回ってきたら、受けてちゃんと意見を言うべきだと思います。また、女性が役を受けると、「あの人はやりたいから受けた」と言われ、受けづらい気配は感じます。 <p>このような意見が出ましたので報告します。</p> <p>まだ封建社会の残る世の中で、女性が上に上がるのではなく、男性がハードルを下げて、女性に近づいてほしいです。</p>
委員	<p>同性の足を引っ張ることなく、活動を温かく見守り支え合ってこそ女性の力が発揮されるのではないのでしょうか。</p> <p>教育委員についてですが、田原市は5名で構成されており、1名が女性です。他市町では2名のところが多くなってきました。文科省から、保護者から1名は選ぶようにとの指導がありました。当市でもそれをふまえて、2名以上の女性委員が実現できたらよいと思います。</p> <p>学校訪問もするのですが、先生の半数は女性なのであまり男女の差を感じません。一度退職された女性教師が復帰され、生き生きと活躍されている姿も見ます。また、生徒たちも合唱コンクールの指揮者に女の子もなっていますし、男女の差は感じられません。先生が男女分け隔てない態度で接していただければ、生徒ものびのび生活できます。</p> <p>10月30日の中日新聞に県内の生活基本調査の結果が掲載されました。時間配分では、男性は仕事時間が24分増えて7時間19分、女性は趣味や余暇の時間が8分増えて6時24分、家事に割く時間は33分減少。平均寿命は約7歳男</p>

	<p>性が短命であることもあり複雑な気持ちになりました。出産を終えた女性が復活する場がないのか、仕事に就くより趣味やくつろぎを選ぶのかわかりませんが、子育ての終わった女性の生き方を考えるべきです。生き方は色々あって良いと思いますが、社会参加を望んでも場所がないのは問題ですし、子育ての終わった後の長い人生を考えていかなければならないと思います。</p>
会長	<p>前回の資料の教育委員のデータは間違っていますので、あとで修正願います。</p>
委員	<p>現在、子育て支援の託児ボランティア活動として、子ども情報センター誌の編集と、生涯学習課による子育てセミナーのサポーターとして参加しています。</p> <p>小さい子どもを持つお母さん達は、育児に手がかかり、家庭の中から出にくいのが実情です。そうした子育て中のお母さん達の交流の場を設け、保護者同士や親子、子どもとの触れ合いを楽しんだりしていただけるように子育て支援の活動をしています。子育て支援の活動から感じたことをお話しします。</p> <p>保育園入園前のお子さんを育てているのは、ほとんどお母さんですので、こうした子育てセミナーに参加するのは、お母さんがほとんどです。たまにお父さんがくる人もいますが、保育園入園前の育児について、ぜひとも父親に参加していただきたいと思っています。おむつも替えたことのないお父さんもいて、一番大変な時期にお父さんも関わってほしいと思います。そのためには、育児セミナーを土日など、父親にも参加できるような日を設定してほしいと思います。</p> <p>現在、子育てに関わる講座は、いろいろ行われています。健康課が開催している妊婦さんの健康と新生児保育に関わる「パパ・ママスクール」や、お父さんと遊ぼう」という講座もあるようです。NHKでも「パパザウルス」という番組があります。父親が子育てに積極的に参加し、子どもと接する機会を多くすることが、子どもの成長に大きな役割を果たすと考えます。岡崎市では「パパ講座」が開催されているそうです。今朝の新聞で「くるみん」という子育て認定マークが紹介されていました。企業ではまだ大手しか取り組んでいませんが、父親が子育てに積極的に参加できるように、短時間勤務制度などを取り入れて、会社が配慮しています。ぜひ田原市では、小さな企業でも、小学校3年生まではお父さんが休みを取れるなど、田原市が援助して取り組めるようにしてほしいです。</p>
委員	<p>農業委員会に所属しており、農地の売買や農業についての話し合いなどを行っています。25人中2人が女性委員です。活動については、男性委員と同等の活動をし、平等に扱っていただき、理解があることだと思います。任期が3年で、来年任期がきれるので、選挙が行われます。次は女性が3人になるといいと思います。3町合併されたので、3名それぞれの地区から出るといいなと思い、男性委員さんと相談して進めていきたいと思っています。</p> <p>仕事や家事をしながら委員会などに出席するにあたり、家族の理解を得たいが、少し不服があるようです。私自身は、出させてくれることには感謝しているのですが、もう少しうまく出させてもらえるようにしたいと思っています。</p> <p>農家の女性として、多くの女性に仕事や家庭ばかりでなく、男性社会に出て視野を広げてほしいと思います。それに伴い、女性はそれなりの知識が必要となるので、女性自身が前向きに色々な行事に出席し、勉強しなければと思います。言われてもしかたないから、気にせずやるしかありません。</p>
会長	<p>新聞で、農業委員を増やしてほしいと要望したのを見ましたが。</p>
委員	<p>JAの代表と農村かがやきネットの代表等が議長に農業委員を増やすよう要望しました。議会推薦枠に女性を入れると議長はおっしゃっていました。もう1名増やすなら、地域の方から推薦していただければと思います。</p>
委員	<p>農業委員は、公職選挙法ですので、立候補すれば何名でもなれます。女性でも立候補すれば出られるが、現実には枠組みがあります。</p>

総務部長	議会の方で女性を2名推薦してもらえれば出られると思います。枠は3名ですが、すべて女性というのは難しいので、地域から女性を出していただきたいと思います。
委員	立候補してやってもらえればいいが、そこまでの人はいません。総代さんに推薦してもらえれば、農業委員になれます。私も地域から推薦されて農業委員になりました。
委員	総代としては、女性に頼みに行っても断られることが多いです。
委員	だんだん増えていくといいですね。
委員	<p>議員にも女性になるといいと思います。婦人会の組織が古いのかどうかはわかりませんが、婦人会はなくなってしまいました。逆に女性にどうしたいのか聞いてみたい気もします。PTAも男女半々で活動しているのに、会長は男性で、女性が会長になるのをあまり聞きません。スポーツでは女性も活躍しているが、女性に意思を持っていただきたいと思います。男女平等というが、体の特性があるので、すべてを平等にするのではなく、特性を活かして全体が50/50(フイティ/フイティ)になればいいと思います。</p> <p>夫婦同伴の農業者研修があります。会議に出ると、広がりもあるし、情報交換もできるし、悩みの話し合いもできます。農業者は男女共同参画が進んでいるような気がするが、男性の方が表に担ぎ出されることが多いので、女性も表面に是非出てほしいです。傍から見る目はなかなかかわからないが、元気よくやっている女性を支える人が必要です。次の人が出やすいように、しばらくの間は信念を持ってがんばってほしいです。声を出していただくことは、大切です。</p>
委員	<p>JAでは2年前、計画を策定する際にアンケートを実施しました。女性保護活動をしています。女性保護活動について今後どのような活動をすべきかという問には、①健康管理活動②高齢者対策③暮らしに役立つセミナーという回答でした。1農家に1アンケートということで、女性が答えたことを想定しています。行政がやられた男女共同参画アンケートでも同じ様な回答だったと思います。</p> <p>懇話会についての私的な考えですが、ここに来る前に、職場の女性に「会社内に男女不平等はある？」と聞いたところ、「ないよ、男女それぞれの役割を果たせばいいんじゃないの？」と聞いていました。男女の特性を活かしてやっていくことが大切だと思います。育児もそうだが、男性は母乳をあげられません。そういったことまで逆転して、条例制定という枠組みを先に作ってしまうのは良くないと思います。身近なところでは不平等感を持っていないといえます。しかし、こういった機会を利用して、まず、末端の女性が何を不満に思っているのかを教えてほしいと思います。今、聞いておかないと条例制定の目標がずれてしまいます。</p>
委員	<p>商工会での取り組み状況について報告させていただきます。①制度の改正に合わせて会報で周知を図っています。本年は、2回「育児休業給付、仕事と子育ての両立支援」について周知しました。②ファミリーフレンドリー企業登録制度のパンフレットを法人企業の講習会で配布しています。12月12日に開催する労働問題の講習会でも子育て支援のPRをする予定であります。③市からの依頼により、男女共同参画推進プランの説明を2回実施しました。</p> <p>現在、企業から「男女共同参画」に関する問い合わせがなく、まだ必要とされていないと思います。会員組織で動いているので、会員からの要望がなければ動きづらい現状があります。法ができて初めて動きが出るものだと思います。PRを継続する以外に方法がありません。日常的に、多くの人を目に入ったり、耳に入ったりすることが大切だと思います。商工会にはポイントカードの事業組合があります。加盟店が100店ほどあり、年間6回イベントを実施していますが、女性委員会を設けて6回のうち2回を企画運営していただいています。</p>

	女性が企画したイベントの方が人が集まります。何かイベントを実施する時は、女性に意見を聞く必要があると思います。
会長	企業ももっと女性のアイデアを活かすべきです。今までチャンスが少なかった女性ももっと意見を出せるといいですね。
委員	<p>私の家は商家のため、農家と同じく、男女共同参画は当たり前になっています。旦那様と同じ仕事プラス育児・家事・介護をやってきました。女性も参加して当たり前と思っていたので、男女共同参画はサラリーマンが主体なのかなあと思いました。ちょっと努力すれば参加できそうなら、自分がやりたいことはがんばってやってきました。そういう家庭でした。やりたいものにはチャレンジしてきたので、しがらみなどは考えたことはありませんでした。周りに言われるとやりづらいとは思いませんでした。家庭の中で時間的に参加できると思ったら、参加してほしいです。今まで、渥美商工会の販売促進委員は男性ばかりでした。その中で女性の組織を作ってくれといわれ、作りました。20件が加盟しています。おばあちゃん達から何か言われるのを承知で、若い女性(子育てを終えたすぐの人)を選んで、話を聞きました。若い女性が参加しやすいよう、時間や曜日も考えて開催しました。姑から文句がでましたが、気にせずやりました。</p> <p>営業マンから聞いた話ですが、家庭の中でも、決定権は女性85%、男性10%、男女で相談5%だそうです。女性が何をかうか決めるので、商家の女性の中で会合をしたら、女性の視点が活かせると思います。農家や商家は男女共同参画です。娘達は、1人は農家で、1人は芸能人、1人はアメリカ企業にいます。アメリカ企業は自分の意見を言わなければ取り上げてもらえません。それぞれ色々な職場の話ですが、トヨタは、1直2直が大変だと聞きます。人を人と思わないというような。男女がリーダーとフォローをそれぞれやっていくべきだと思います。社交ダンスもリードとフォローが大切で、男好きだから女好きだからといわれながらも続けているが、「頭も使うし奥が深いスポーツなのよ。」と胸を張ってやっています。</p>
委員	販売促進員の女性の会の趣旨は何ですか？
委員	販売促進委員の男性のフォローといった形で、女性の意見を取り入れるものです。地域限定ですが。
委員	<p>前回もお話させていただきましたが、女性従業員が少ない職場です。1直(6:25~3:15)2直(16:25~1:00)の勤務形態が女性にはしんどいのかもかもしれません。勤務形態だけの話ですと、男性はできて女性ができないのは、女性の甘えかかもしれません。女性の肉体的に厳しければ改善するべきですが、重いものを持つなど工程改善をしておりますので、一時代前よりは男女共に働きやすくなっています。PR不足なのか、勤務形態なのか、理由はわかりませんが、女性が少ないのが現状です。田原工場には女子寮がないので、地元採用しかできないため全国採用を受け入れることができるよう、来年あたり女子寮を作りたいと思っています。しかし、採用した女性も、結婚・出産でやめてしまいます。産休はありますが、産休を利用して働き続ける女性は少ないです。その理由の一つとして、子育て中には1・2直勤務は無理です。その解決策として、女性から、子育て中は常昼勤務にしてほしいと要望がでています。しかし、常昼勤務ということはライン業務からはずすということで、極少数ならば受け皿があるが、これから女性が増えていく中で、全員を常昼勤務にすることはできません。子育て中の母親をオール1直勤務にし、2直は派遣労働者を雇用することで対応することを検討しており、現在、他工場で試行中です。しかし、早朝から子どもを預けることは難しく、6時から8時までの間、子どもを預ける場所がありません。早朝・深夜に子どもを見てくれる託児所は民間には少ないので、託児所を独自に作ることを検討しています。民間企業ではあまりありませんが、</p>

	自前で持つべきかどうか考えております。他企業でも必要なところがあれば、この場所でお伺いして、もしニーズがあれば、一緒に取り組みたいと思っています。
会長	トヨタ自動車は自前の託児所をお持ちですか？
委員	本社地区に2ヶ所託児所があります。現場の女性が子どもを預けています。24時間ではなかったと思いますが。
会長	例えば、パートナーが2人ともトヨタの場合、勤務に融通は効くのですか？
委員	日本ではまだ聞いたことがないが、北米では1直2直を夫婦が交替でやっている事例があります。男女が交代で子育てをしています。日本でも要望があれば対応可能だと思います。
委員	1直2直を男女でやるのは難しく、女性が退職してしまいます。
委員	現状では、日本ではそうなってしまいます。
委員	男女、月給は一緒ですか？
委員	一緒です。
委員	市役所ではどうですか？
総務部長	市役所でも男女平等です。管理職に5名女性がいます。
委員	<p>大草校区の話をさせていただきます。婦人会がなくなった理由は、色々な行事に参加する支部長になりたくないというのが大きかったです。婦人会がなくなるときに、婦人部を作りました。現在は名称変更して、女性部となりました。区長がリーダーとなり、60歳定年制を設けました。女性の助けを借りなければいけないときがあります。立ち番、掃除、地域のフェスティバルに出てもらっています。地域の活動は率先して出てくれます。老人クラブも一度解散してしまいました。これも、役員をやりたいくないという理由でした。今年、復活させましたが。</p> <p>国の交付金事業でむらづくり事業を高松地区と協働で実施しており、防火用水の地下タンクにするなど、5億円ほどの交付金でやっています。策定委員に女性に2名入ってもらっています。平成18年度に開催したまちづくり推進会議にも3名女性に参加してもらっています。子どもの見守りボランティアも18名中5名参加してもらっています。隣の席の近藤さんに隊長をお願いしています。</p> <p>「女のくせに、女だてらに」という批判はよくありません。地域の会合などで、意見を主張する女性に対して「だんながかわいそう」と冷やかす男性がいます。姑や夫が障害になっています。委員などを依頼する際に、妻は「夫に聞いてから」というので、夫を説得するとうまくいくことがあります。</p> <p>男女共同参画にこだわり、「何でもかんでも女性が参加しないといけない」という考え方をする人がいます。フェミニストの考え方なら別ですが、大変危険な思想と思われるので、取り違えてはいけません。女性のアイデアが必要です。実行する時に女性の体力では無理なことでも、計画と実行を切り離してもいいと思います。</p>
委員	<p>男性ができること、女性ができることをそれぞれやれば良いと思います。TIAは女性がかんばっている団体です。言いたいことがちゃんと通る組織です。私は市民海外研修委員会に所属しています。これからの時代は、国際交流・協力・支援をしていかなければいけません。中国・フィリピンの女性が近所にいるが、困っていることを話し合う場を設けたらいいなと思います、現在準備をしています。現在、田原市の在住外国人は2007年5月で1,008人おり、そのうち女性816人は、中国人約600人います。これからは男性と女性と共生するだけでなく、外国人との共生も必要です。労働力としても外国人が必要だということをアピールしなければいけないと思います。</p> <p>数年前、市民海外研修でスウェーデンに行き、一般の家庭にホームステイをし</p>

	<p>た時にいくつかの疑問にあたりました。男女平等では1歩も2歩も先進国であるこの国の女性の多くが職場は男性が優遇されているというのです。スウェーデン社会に男女共同参画の概念が浸透し、男女平等に対する意識に敏感になっているからだと思われました。私が、過去勤めていたときは「女性だから許される」といった風へのほほんとして働いていました。スウェーデンでは、若いパパが保育園に送り迎えをしていました。私の時は、自分がだめなら祖母、祖母がだめなら近所の人というように、父親には頼りませんでした。</p> <p>男女平等になるために最も重要なことは、固定的な社会通念を改めることだと思っています。</p> <p>先ほど委員さんから、「男性がハードルを下げる」と言われましたが、女性が努力すべきだと思います。</p>
委員	<p>社会福祉協議会の松本と申します。社会福祉協議会の職員は、市からの派遣と社会福祉協議会職員とで構成されています。管理職は市の職員であり、まだ組織として成熟していないのが現実です。100名を越すスタッフのほとんどは、女性で臨時職員です。ボランティアの精神で働いてくれています。そういった女性職員で成り立っているのが社会福祉協議会です。組織の役員には男性が多いが、市民活動の代表は女性が多いです。最初に役員を受けてくれるのは男性の方が多いです。子供会のトップは男性、手伝いは女性です。役職で引っ張ると市の会議は男性ばかりになってしまいます。</p>
委員	<p>泉校区に児童クラブがなく要望したら、市から地元から声を上げてくれと言われました。館長が署名を集めてくれというので署名を集めました。それでできたのだが、泉校区は現在市民館が工事中で、基本的には市民館でやりたいが、現在は、児童クラブを学校の空き教室でやっています。学校の空き教室だと、先生の目が光っていて子どもが萎縮してしまいます。福江校区の児童クラブは市民館でやっているので、子ども達がのびのびしています。泉市民館は改装しただけなので、今までの大広間でやると、夜空手が使うことになっています。そのため片付けをしなければいけません。面倒見る先生達の負担が大きいです。福江の市民館も改装する予定らしいですが、会議室では狭すぎます。ぜひ設計段階で子どものことを考えていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>今のお話で、子どもが先生に見られていると、おどおどしているのびのびできないと聞き、見られていて評価されるとのびのびできないのだと思いました。評価と周りからの承認が自分の行動の縛りとなっていることが「ねたむこと、やらされているから仕方なくやると言うこと」になります。</p> <p>それから、「違っている」から「平等でない」という論理についてですが、「違っていて当然」そして、「同じように尊い人権を持っている」と考えます。</p> <p>さて、10月26日の朝日新聞には、「男と女：賃金格差大国 日本」という記事が掲載されていました。また、日経新聞でも男女平等指数で、日本は115カ国中80位から91位に後退したと出ていました。</p> <p>日本は差別が拡大傾向にあると認識しなくてはなりません。</p> <p>次に、児童虐待、DV、セクハラ等の被害者はその事実を簡単に表現出来ません。今ある枠組み以外の安心と信頼の場が必要です。</p> <p>さて、中学生になって、クラスごとに級長・副級長を選ぶとき当然のように最初に先生が級長に男子、副級長に女子を指名するそうです。それが自然のことになってしまっています。また、幼稚園が男女混合名簿だったのが小学生になると別名簿になり、「女子が何でもあと」はおかしい！と感じますが、しばらくするとその理不尽さに慣れてしまいます。考え方・価値観を差別する側に都合のよい方向に操作していく社会。物を考え批判する芽を摘んでいく社会に順応する子どもを育ててしまいます。</p> <p>わたしたちは、自分の中に生まれてからずっとあらゆる場面で刷り込まれて</p>

	<p>いる差別のバイアスを取り除いていく作業を行っています。違和感で始まる気づきを見落とさないようにしています。</p> <p>その作業を行政職員からも始めていただきたいと思います。先ほどからあちこちの委員から出てきているようになぜ女性が進出できないか、人目ばかりを気にしなくてはならないか、という原因は「差別偏見があるから」です。そのことに気づき、取り除くことが必要です。日本は制度やシステムは少しずつ整備されていますが、心のバイアスをとりのぞく意識改革が必要だと思えます。</p>
委員	<p>たはら男女共同参画ニュース「Walk Together」創刊おめでとうございます。その中に、「あかばね・ひらがなのかい」の紹介もあって恐縮しています。私達は、会を始めて1年半になりますが、外国人が地域で暮らしていくには、「文化の違い」と「ことばの壁」が一番の問題になるのではないかと考えています。紹介されてから、数人の人が「見たから・・・」と、言って見学に来ました。大人だけでなく、外国人の子供たちはどうなのだろうか？とも思うようになりました。</p> <p>地域へ年々増加してくる外国人の方々と共に暮らしていくためには、「日本語ボランティア講師養成講座」などをコミュニティー単位で開催してもらって、年齢層に関係なく互いに理解し尊重し合いながら多文化共生の活動が広まるとともに、男女共同参画の推進も深まったらと思えます。</p>
会長	<p>それでは、次の議題に入る前に10分間の休憩をしたいと思います。田中さんが3:45までに退席しなければいけないので、先に発言いただきます。</p>
委員	<p>特にございませんので、先に抜けさせていただくことのみご了承承願いたします。</p>
企画課主幹	<p>本日ご欠席の稲垣委員の意見を代読させていただきます。</p> <p>本日は欠席にて申し訳ありません。私ども旅館業は、社長・女将・仲井・フロント・板前と男女の仕事がはっきりしています。男女共同参画としては、持ち場の仕事に専念すればうまくいきます。ただし、近場の旅館又は市全体又は全体としての横のつながりは、男性任せです。女性も出て行けばもう少し細かいところのつながりができて、近場又は市全体のバランスが取れるのではと考えます。社長のみ表に出てもらおうのが精一杯で、女性はなかなか外へ出る時間が取れないのが現実です。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、3時35分に再開しますのでよろしく願いします。</p>
	<p>休憩</p>
会長	<p>それでは、次の2番目の議題の「委員連絡票により提出された意見等について」にはいります。事務局から説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>それでは、前回の第1回懇話会終了後、委員連絡票により提出されました委員のみなさんのご意見等を取りまとめましたので、その内容をご報告させていただきます。資料2の「委員連絡票により提出された意見等」をご覧ください。</p> <p>はじめに、懇話会についてのご意見等です。8つのご意見等がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 懇話会を通して、堅い話、やわらかい会話をしながら、目的が達成されればよい。将来的には条例の制定まで発展すればよいと思う。 ・ みんなが自由に話せるように、堅苦しい場にならないように。 ・ 推進プランを見直す会議なのか？ 条例を制定するために練っていくのか？男女という深い問題について意見交換を続けていくのか？ ・ 懇話会の中で具体的に何をやっていけばいいのか、何を目標にすればいいのかわからなかった。 ・ 熱心な方の意見もわかるが、あまり感情的な話の展開になってもいかななものか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の班割をして、班毎での意見交換。班でまとめた意見を全体会で発表し、協議。懇話会以外で班毎に集まり、意見交換。班長会を開き、今後の方向性と進め方の決定。 ・ 推進プランの実現のための推進目標 4 点に絞って、いかにしたら推進できるのかを検討する、ある程度範囲を決めなければ、2 年の任期では意見交換のみで終わってしまうのが心配される。 ・ お決まりの会議と会議結果のみで終わりではなく、実践する。リードフォローしてほしい。 <p>次に、その他についてのご意見等です。9つのご意見等がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受動的な立場ばかりでなく、自己を主張して能動的に振舞う勇気も大切。 ・ 女性が働くための基礎作りをしっかりとしてほしい。(保育園の受け入れ態勢) ・ 未だ女性の地域への参画ができていない。 ・ 仕事と家庭との両立は進んでいない。職場・家庭における慣習やしきたりが要因。事業主が法の趣旨を理解して従業員へ啓発を行う姿勢が必要。方法としては、事業所や家庭へ男女共同参画という話題を投げかけたり、講話などの時間を割いてもらうように呼びかけたりする。PR が大切。 ・ 地域づくりや特産品開発に女性の意見や感性は欠かせない。 ・ 働く女性の環境を整備するために、託児所や学童保育の充実を官民一体で取り組んでいけたらと思う。 ・ 様々な役職につくことについて、女性自身が嫌い、断ることに男女共同参画を遅らせる要因があると考えていたが、その根源に男性社会が長年に渡り、創り上げた現在の状況が原因と理解できた。 ・ 男女の性は違うのだから、男女平等ではない方がよい。女性は子どもとゆとりを持って育ててもらいたい。 ・ まだ男女が対等とは思えないが、対等に近づくためには、女性もそれなりの知識を持つことが大切だと思う。色々な場に参加してみることだと思う。(家族の理解が大切。) <p>提出された意見等については以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>只今の説明についてご意見・ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。ないようですので、次に参ります。</p> <p>それでは、次の3番目の議題の「懇話会の今後の進め方について」に入ります。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>企画課主幹</p>	<p>それでは、私から資料3の「田原市男女共同参画推進プランの分野別取組事業一覧表」についてご説明させていただきます。</p> <p>A3の大きい資料を見ていただけますでしょうか。この表は、すでにお配りしている、きみどり色の市の推進プランの冊子に書かれている実施事業を、みなさんが関係すると思われる分野別に整理した表です。表の一番左側の欄に分野が書かれています。上から順に、「防災関係」「教育関係」「農林水産業関係」「商工業、観光関係」「地域関係」「福祉関係」「その他」と7つの分野に分けています。一つの事業で複数の分野に該当すると思われる事業は、重複してそれぞれの分野に含めています。例をあげますと、教育関係の2番目の事業「青少年健全育成事業」を見ていただきたいと思います。この事業は「地域関係」の分野にも該当する事業であるため、1枚めくっていただいた3ページの「地域関係」の部分を見ていただくと2番目に同様の事業を掲載しています。</p> <p>それから、「その他」の分野についてご注意いただきたいのですが、6ページから出てくる「その他」の分野は、「防災関係」から「福祉関係」までの6つの分野以外の分野に該当すると思われる事業をすべて掲載しているものです。従って、ここでご注意いただきたいのは、委員名簿で「その他」の分野となっ</p>

	<p>ている委員さんの専門分野が、すべてここに該当するという意味で掲載している訳ではありませんので、誤解のないようお願いいたします。ここに記載の「その他」の分野は委員のみなさん全員が関心を持っていただきたい事項であると考えています。</p> <p>表の見方ですが、1ページに戻っていただき、左の欄から「分野」、「分野内の事業番号」「事業名」「事業の概要」「事業を実施する担当課室名」「推進プランに掲載されているページ数」「プランを推進する4つの大きな推進目標のうちの該当番号（この番号が何を意味するかは、最後の7ページの左下の欄外に記載がしてあります。）」戻っていただいて、いま説明した真ん中の「推進目標」欄の右側が「重点テーマとして掲げている内容」「推進することになっている施策の内容」、最後に一番右側の欄が「10年後の目標（プランの評価指標）」となっています。この欄の記載内容についてご注意くださいいただきたい点がございませぬ。ここに記載されている内容は、先程話した4つに分類される大きな推進目標を達成するために、それぞれの推進目標ごとに掲げられた指標であるため、記載されている個々の事業の直接的な目標ではありませんので、ご注意ください。例えば、防災関係の1番はじめの事業は「男女双方の視点に配慮した防災対策の立案、実施」事業となっており、事業の内容は「男女双方の視点に配慮した各種防災関係計画づくりや施策の推進をする」となっていますが、これを実際に推進しても、直接的には、一番右の目標欄に記載されている、女性委員の登用比率が30%以上になったり、地域活動への参加率が上昇するわけではありません。この一番右の目標欄で記載されている内容は、真ん中にある推進目標欄に「2」と書いてありますが、この2番に該当する「誰もが参画のまちづくり」という推進目標を達成するため設定している指標であることをご承知ください。</p> <p>各分野での実施事業については、この表で瞬時に把握することができると思いますので、今後の懇話会での参考資料としてご活用いただきたいと思います。それから、最後になりますが、「事業名」の欄で、「教育関係」分野の5番の「男女共同参画に関する教職員研修」のように、下線が付けてあるものが多くありますが、これは、前回の懇話会で配布しました「田原市男女共同参画推進プランに基づく実施事業の目標設定について（資料3）」という資料で、具体的な事業を掲載しているものを示しています。この表についての説明は以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。これらの内容を踏まえたうえで、この懇話会後半では、懇話会は何をする場なのか、どういう方向に進んでいくのかということについて少しの時間ではございますが、ご意見いただきたいと思います。ご意見がない場合は、なしでも結構です。</p> <p>それでは、委員のみなさん、発言をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>女性が本当に男女共同参画を望んでいるのか、うかがいたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>まず、懇話会をどのような方向にもっていくかを考えたいと思います。豊橋市の懇話会はプランを見直しながら条例という目標に向けたものでした。豊川市の懇話会は、プランの進捗状況を確認したり、市から数値目標を提出してもらったり、内部努力への助言をする機関です。ジェンダーチェックリストも作成しました。懇話会にやり方はありませんが、豊川も本当に行政にやる気があるのかどうか示すためには条例が必要だという意見が出てきています。</p> <p>両者とも出前講座や女性団体主催のイベント開催等を行っています。懇話会は、状況を見ながら男女共同参画を進めるにはどうしたらいいかというのを考える場所だと思います。</p> <p>今、女性の本音を聞きたいという意見がありましたが、男性のみなさんはどう考えているのか知りたいです。男性は、ワークライフバランスについても考えなければいけません。家庭で居場所がないお父さん、子どもに無視されるお父さんとか、そういったことを含めて考えると、両者にとっていい状態をめざすことが、男女共</p>

	<p>同参画だと思います。女性が責任を持たなければならない部分を増やせば、男性が解放されることもでてくるでしょう。お互いが融通しあって、女性に次々出てくる仕事を男性が少し受け持ってあげて、女性が少し開放されることもあるかと思います。</p> <p>男女共同参画の推進を本当に望んでいるかということをお伺いしたいということでもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>懇話会は条例制定を目指すのか、何をを目指すのかがわかっていません。前回会議に出て初めて日本を作り上げてきた男性社会が女性の進出を妨げていることがわかりましたが、懇話会で何をを目指すのかがわかりません。</p>
委員	<p>ここで意見を言ったら市がどうしてくれるのでしょうか。ここでの話し合いをプランにするのですか？</p>
企画課長	<p>市としては、プランのとおり、男女が人格を認め合う社会を築いていこうということを目的としています。懇話会では、各分野の方々にお集まりいただき、意見交換をし、各分野で推進していただきたいと考えています。市については、内部での推進、PR方法等に議論いただければと思います。つまり、懇話会の目的は、一つはそれぞれの分野での推進、もう一つは行政への意見をいただくことです。条例が必要かどうかは、意見の高まりが出てこないと伴わないと思っていますので、今後ご意見をいただき、よい意見は取り入れていくことを考えております。男女共同参画の事業としては、男女共同参画ニュース、映画祭、パンフ作成、フェスティバル等考えています。懇話会の進め方があればご意見いただきたいです。</p>
委員	<p>目標は、条例を作ることかと思っていました。豊橋は5年以上かかっていますし、豊川はまだです。条例ができるまでには時間がかかると思っていました。</p>
会長	<p>条例ができる意味は、市・市民の責務を明らかにすることです。デメリットはないとおもいます。</p>
委員	<p>デメリットがあると思います。男女の問題は繊細だから、明らかにすることで動けなくなることがあると思います。</p>
会長	<p>女性が甘えるための条例ではないこと、男女共同参画は女性が甘えるものではないことを、女性が自覚しなければいけません。女性がトップにつきたがらないように育てられてしまったということもあると思いますが、女性は、誰かが上にいてくれればという風潮もあります。個人差はあるが、一般的には女性が出にくい現実があります。例えば、英語のことわざで「異性の靴をはいて歩き回ってみる」という表現があります。男性は女性の靴を履いて歩き回る、女性は男性の靴を履いて歩き回る、ということが必要です。これは相手の立場を理解することから始めるという意味です。</p>
委員	<p>例えば、男性は出張や残業を心置きなくできます。女性は家庭があって同じことはできません。男女平等だから、出張や残業を、同じ風にしろというのは無理です。</p>
会長	<p>この問題は、日本の働き方を変えなければいけません。人間らしい生き方は、働き方を変えなければいけません。子どもができて、両親が子どもと関われるような働き方、生活の仕方ができるような、職場の作り方が必要です。今のままでは、デメリットが出てきてしまいます。全体で変えていかないとどこかにしわ寄せが来ます。お互いが、性別的な違いや個人の違いを尊重する前に、人間として平等だということがベースです。こういった問題が出てきたのは、外圧です。経済的には裕福な日本ですが、人権問題では非常に遅れています。女子差別撤廃条約を批准しているが、チェックに引っかかっています。日本は計画は作ったが、中身がだめだと、女子差別撤廃条約の委員会から言われています。例えば、「日本においては家庭や社会において根強く硬直的な固定観念が持続して、労働市場における女性の状況、教育の選択、政治公的分野に反映され</p>

	ている。」と言われていました。人権問題、女性に対する暴力の問題もそうです。DV法等整備して、国際的に認められるよう変わってきています。労働状況についても、男女雇用機会均等法が改正され、直接・間接差別の禁止が言われています。男女雇用機会均等法に詳しい横堀さん、男性の育児休暇についてなどいかがでしょうか。
委員	女性には産前産後・育児休暇、男性には育児休暇制度を設けているが、男性が取った事例はありません。もちろん、お互い協力しながら育児休暇をとれるようになってほしいです。
会長	田原市はどうですか？
総務部長	育児休暇はあります。12月議会で調整しますが、育児休業つまり時間単位で休みを取ることが出来るようになります。社会貢献や勉強のための休暇や、第2の人生の準備期間として、退職5年前に部分休業を取ることにもできるようになります。少し恵まれた状況になってきました。男性で育児休暇をとった事例はありません。この辺りでは、蒲郡で取った男性がいます。
会長	制度はあっても使えない状況ですね。
委員	休暇後の復帰が不安だからじゃないですか？人間関係や職場関係に自信がないからじゃないでしょうか。復帰してやっていけるか負い目になってしまうと思います。
会長	子育て中の母親もそうだが、復帰への不安はあります。今の時代、動きが早いので、1,2年ブランクがあると復帰する不安が大きいです。週3で仕事をしたり、家でできる仕事の場合は家でやったりと、完全に仕事をやめずに働く方法もあります。働き方が多様化する中で、制度が使えないのは今までの社会風土のせいです。男女でなく個性の活かされる社会にしなければいけません。
委員	子育て支援のボランティアをしているが、現在、保育園が統合して減っていて、働く人が困っています。私達の世代は、働きたいけど、育児のために一旦仕事をやめて、子育てが終わった後仕事をしている人が多いです。しかし、若い世代は2人とも働きたくて結婚や出産を迷うこともあります。育児が一番問題になるからです。女性が安心して仕事を続けられるように、市が「子どもの面倒みます！」とあって、充実した保育制度を持って欲しいです。私たちの年代は、手数があるので、活用してもらって子育てに携わってもいいと思います。現在、市では育児に困った人を対象に、「ファミリーサポートセンター」を開設しています。しかし、個人の家でお子さんを預かるのは不安なので、公的な施設を設けてもらえると、ボランティアも参加しやすくなると思います。
会長	懇話会で何をするのかというのは、各市町村で違います。女性が進出すると、偏見があり、足を引っ張る人がいると思います。やりたい女性だけやればいいのです。でもやりたくない人は足をひっぱってははいけません。女性がやってみようと思える雰囲気を作ることです。田原市については、もうできていると思いますが、新しいことをする人には、旗を振る人が必要です。前回の市長さんのお話で、男女共同参画には積極的だと思いました。もっと積極的になっていただきたいです。日本政策投資銀行の監事が、「人材が磨かれ、活用される仕組が大事です。時代と感性を共有できない高齢男性や高齢男性VIPや名前だけの団体はいりません。新しい人材、行動する団体に責任を与えて行動してもらうことが必要です。女はあなどっても大丈夫とか、男性優先という考えをなくしていこう。こういうところから男女共同参画は広まっていくでしょう。」と述べていました。もし興味がありましたら、今年の5月ぐらいからブログを立ち上げたので、そちらをご覧ください。
企画課主幹	方向性があまりまとまっていませんので、皆様のご意見をまとめていただき、委員連絡票にご記入いただき提出いただきますようお願いいたします。
企画課長補佐	半年間、研修にいらっしゃったので、様子がわからなかったのですが、事務

	<p>局としてこうなったらいいなという懇話会の姿を説明させていただきます。時間をかけて男女共同参画プランを作っていただきました。先生から、他市の条例化のお話をうかがったり、以前に市議会議員の先生からも条例化についての質問をいただいたりしましたが、条例もそうなのですが、行政は市民の意見を反映した形で運営しております。世界的にも男女共同参画社会を進めていくことは決まっていることですが、やり方はそれぞれの地域で異なっています。国県の条例は方向性のみを示しており、田原市でも同じ条例を作ってもいいがありません。懇話会では、それぞれ具体的に何をできるのかを、プランの項目にそって議論していただき、その中で実際難しいことが出てきたら条例等を検討するとよいと思います。例をあげると、先ほどお話をお伺いしましたが、商工会で会員が必要としていないのに動くことが難しいので、法律や条例で決まってくれば説明しやすいなどという時です。条例は、国県などのように方向性を示すだけの条例と、権利を制限し、義務を課すという具体的な内容を示す条例があります。市民のみなさんに権利を制限し、義務を課すわけですので、市民のみなさんが選挙で投票した議員さんにお伺いして制定します。田原市で条例を作るときも、方向性を示すだけにするのか、事業者は女性を平等に雇わなければならないなど、具体的に義務を課す条例とするのかでも違います。懇話会で、プランに基づいて、市のことを指摘するだけでなく、個人・団体・事業者の方が取り組んでいる実態や困っていることを連絡調整する中で条例がないと無理だよという状況になってから条例を作ることを考えるのがよいと思います。ただ条例ありきでいくのはまだ早いと思って、懇話会を設置してそれぞれの状況を話し合っていたらいいなと思っております。</p>
会長	<p>みなさんそういう認識だと思います。みなさんから意見が出るのは、国の法律等に対して消化不良な部分があって、疑問点等が出ていると思います。みなさんから疑問や意見がでるのは大変よい形だと思います。豊橋は理念条例です。</p>
委員	<p>男性の作ったものの中で、暮らしていますので、少しずつ女性の意見を取り入れていただきたいなあと思います。男女共に辛くなく気持ちよく生きていけるようにしたいです。</p>
会長	<p>子ども達が学校では一生懸命勉強して、男女平等なのに、卒業して社会に出て、男女の差を感じている女性は多くいます。先ほどのお話では、農業では男女共参画が進んでいるという話でしたが、他の地域では、家族協定の話が出るということは、女性の立場が弱いということです。いろいろな分野のことを学びながら、この地域で男女共同参画を進めていこうと思っております。委員連絡票に進め方についてご意見をいただきたいと思います。</p>
企画課長	<p>懇話会の進め方や自分の所属する団体の意見等、意見票に書いて提出願います。</p>
会長	<p>それでは、次の4番目の議題「平成20年度あいち国際女性映画祭の田原市での開催」について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画課主幹	<p>それでは、私から説明をさせていただきます。あいち国際女性映画祭については、前回の第1回懇話会でも皆様にちらしを配布し開催についてご案内させていただきましたが、まずはその結果をご報告させていただきたいと思います。お手元の資料4をご覧ください。9月9日(日)の午後1時30分から4時まで、田原文化会館文化ホールで開催しました。観客は全380席に対して366名のご来場をいただきました。内容は市長、ゲストのあいさつからはじまり、映画の上映、その後、ゲストトークといった内容でした。めくっていただいた裏面の「6の総評」のところをご覧ください。</p> <p>映画祭の総評としては、客席もほぼ満員となり、概ね順調でありました。ゲストトークでは、数名の観客の方から質問があり、アナウンサーもこの映画祭に慣れた方でスムーズに進行できました。映画の内容だけでなく、ノルウェー</p>

	<p>の共働き夫婦の実態や子育て支援制度などにも話題が広がり、日本との違いなどについて話し合われました。</p> <p>また、当日回収したアンケート調査からも、映画祭に関しては満足という意見が多数あったことから成功ではなかったかと感じてとありますが、多くの方が興味を持っている映画が日本映画であったことや、観客の年代が50～60代ということなどから、次回の国際映画祭の開催については再検討する必要があると考えています。それから、プランの認知度では、「知らなかった」という回答が44%もあったため今後の市民への意識啓発の必要性も感じています。また、来年度以降、映画祭を開催する際には、幅広い年代や、男性にも来てもらえるようなPR方法も検討する必要があるのではないかと考えています。以上が今回の開催結果です。</p> <p>以上説明いたしました、今回の結果を踏まえまして、本日の議題となりますが、来年度、平成20年度の国際女性映画祭の本市での開催について、この場をお借りし、委員のみなさまに開催の可否をおはかりしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。なお、来年度は9月6日（土）か7日（日）に開催される予定となっております。</p> <p>事務局からの説明は以上です。委員の皆様、ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
会長	平成20年度の開催について、この場をお借りして、開催の可否をおはかりしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。開催に反対の方やご意見がある方はいらっしゃいますか。
委員	年配のお客さんが多かったので、お年寄りには強烈的な内容でした。
会長	事前にチラシ等でお知らせすることも大切だと思います。映画の内容には配慮していただきたいと思います。反対の方は、いらっしゃらないようですので、懇話会としては、映画祭の開催に賛成ということでしょうか。
全委員	異議なし
企画課長	懇話会の方々にも入っていただき実行委員会を作って、事務局と協働で運営するなど、進め方についても今後ご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
会長	それでは、次第3の「その他」に移りますが、何か事務局からございますか。
企画課主幹	<p>次回、第3回の懇話会の開催についてですが、次回の会議は2月から3月頃を予定しています。開催日程につきましては、今回同様、事前に各委員の皆様のご都合を調整のうえ決定したいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、今回懇話会の進め方についてまとまらなかったため、委員連絡票を用意してありますので、ご意見等ございましたら、ご記入のうえ提出をお願いします。</p>
企画係	お手元に配布させていただきました「たはら男女共同参画ニュース ウォークトゥギャザー」をご覧ください。11月15日に全戸配布させていただきましたので、お手元に届いている方もいらっしゃるかもしれません。これは、男女共同参画に関する情報をできるだけ多くの方に見ていただけるよう、分かりやすく身近な話題をお届けする情報誌です。第1回にも市民の方のインタビューを掲載しておりますが、身近にがんばっている女性や、協力し助け合っている家族など、紹介していただける方がいましたら、是非情報提供をお願いします。
委員	ひらがなのかいでは、新聞を出しております。山本先生のブログも掲載しております。図書館でも見ることができますので、よろしくお願いいたします。
会長	<p>ありがとうございました。男性にとっての男女共同参画をどのように進めていくのが難しいです。ワークライフバランスや長い老後についても考えていきたいと思っております。男女平等になるまでは、女性の支援は差別ではありません。</p> <p>本日はこれで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>